

土地の所在

高松市六条町字上川西1079, 1080, 1081, 1087-1, 1087-3, 1093-1, 1093-2, 1094-5, 1094-6

土地利用計画図

埋蔵文化財包蔵地外

開発許可
年月日

第 令和 年 月 日
号

申請者

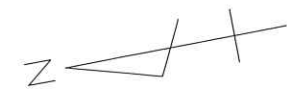
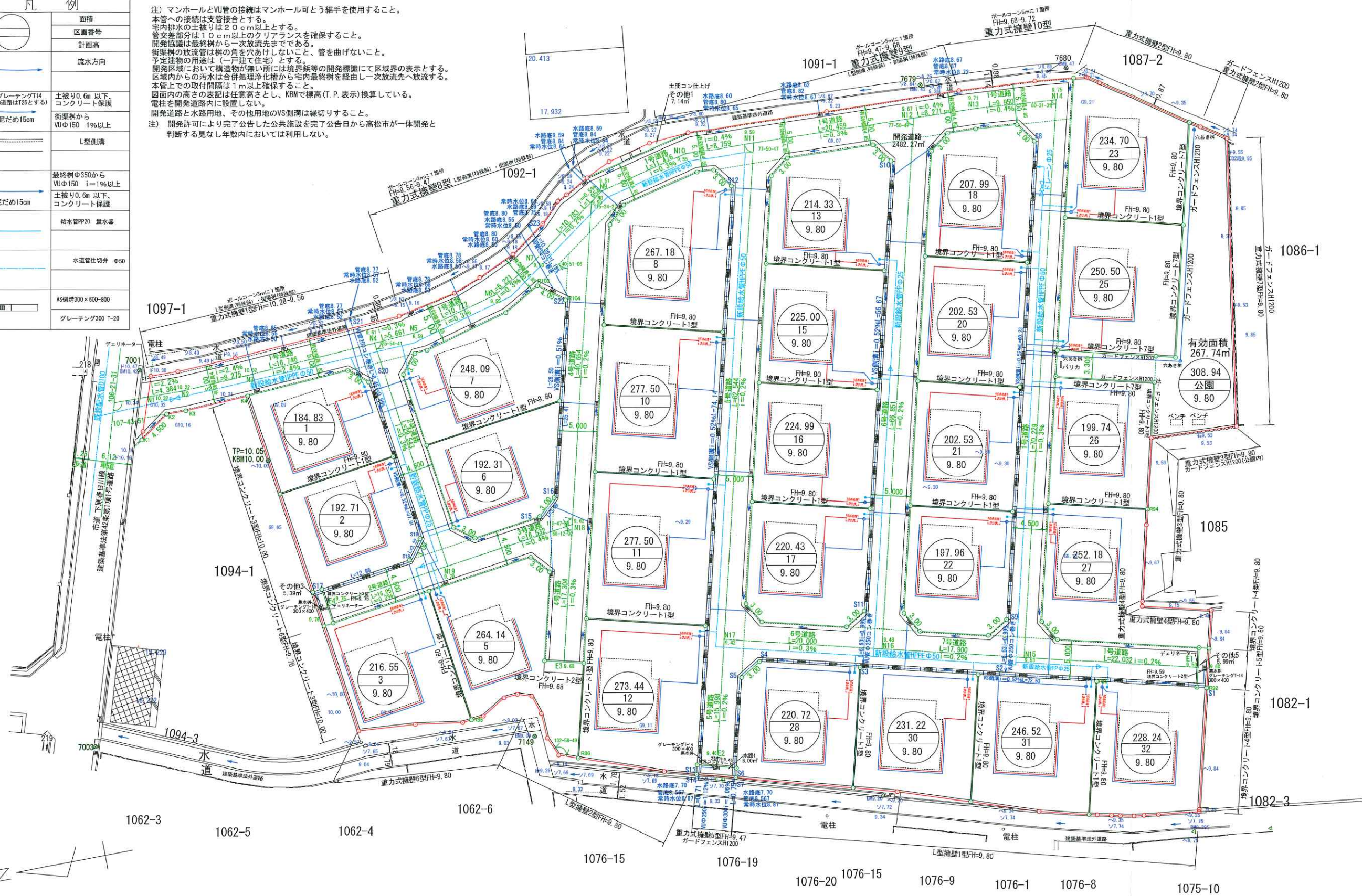
代表取締役 増元 浩二
アイラックホーム株式会社

作成者
住所・氏名

高松市円座町1580番地10
土地家屋調査士
宅地建物取引士
二級建築士
岡野上 竜一

凡 例	
面積	区画番号
計画高	計画高
流水方向	流水方向
グレーチングT14 (6号道路はT25とする)	土被り0.6m以下、コンクリート保護
泥だめ15cm	街渠樹からVUφ150 i=1%以上
	L型側溝
	最終樹φ350からVUφ150 i=1%以上
	土被り0.6m以下、コンクリート保護
	給水管PP20 量水器
	水道管仕切弁 φ50
	VS側溝300×600-800
	グレーチング300 T-20

注) マンホールとVU管の接続はマンホール可とう継手を使用すること。
本管への接続は支管接合とする。
管内排水の土被りは20cm以上とする。
管交差部分は10cm以上のクリアランスを確保すること。
開発協議は最終樹から一次放流先までである。
街渠樹の放流管は樹の角を穴あけしないこと、管を曲げないこと。
予定建物の用途は(一戸建て住宅)とする。
開発区域において横断物が無い所には境界紙等の開発協議にて区境界の表示とする。
区域内からの汚水は合併処理浄化槽から宅内最終樹を経由して一次放流先へ放流する。
本管上での取付間隔は1m以上確保すること。
図面内の高さの表記は任意高さとし、KBMで標高(T.P.表示)換算している。
電柱を開発道路内に設置しない。
開発道路と水路用地、その他用地のVS側溝は線切りすること。
注) 開発許可により完了公告した公共施設を完了公告日から高松市が一体開発と判断する見なし年数内においては利用しない。



縮 尺

S=1 : 500